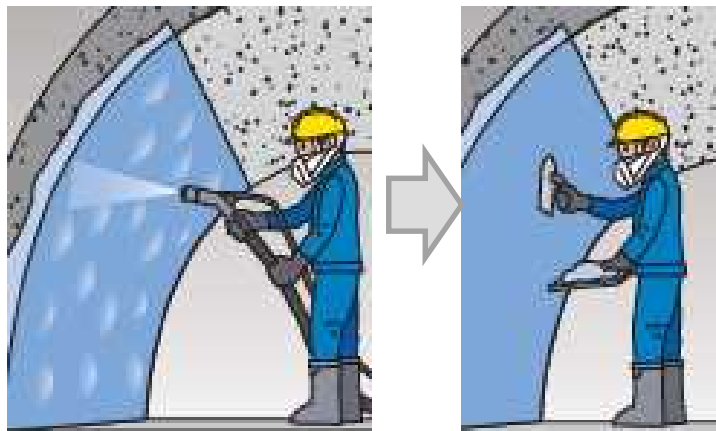


デンカスプリードエース (吹付け用ポリマーセメントモルタル)

NEXCO 構造物施工管理要領表-3-5-4モルタル工の断面修復材の品質規格「試験法432」
JR西日本「コンクリート構造物補修の手引き断面修復材の基本規格値」

① 概要

「スプリードエース」吹き付け用の湿式吹付けタイプの断面修復材です。優れた厚付け性能を有し、防錆剤の混和が可能です。

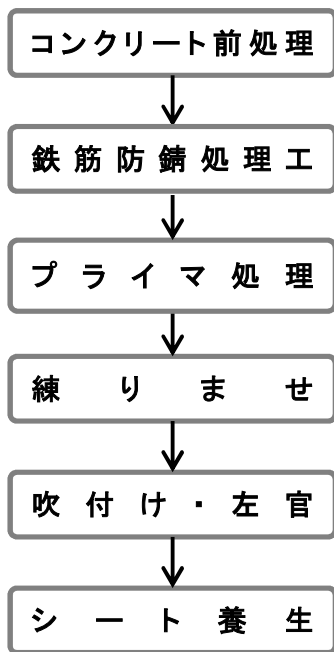


② 特徴

- ポリアクリル酸エステル(PAE)系粉末ポリマー混入タイプ
- 樹脂ファイバー(PVA繊維)混入タイプ
- 湿式吹付け工法で高い密着性と厚吹きを実現
- リバウンドが少なく、材料ロスも抑えられ、高い経済性
- 容易で効率的な施工が行なえる1材のプレミックスタイプ
(所定量の水のみを加え練り混ぜるだけで使用可能)
- 吹付け施工時のポンプ圧送性が良好
- 収縮が少なく、優れたひび割れ抵抗性
- 耐中性化、水密性に優れ、長期耐久性に期待



③ 施工方法



施工手順

- 1. コンクリート前処理**
カッター切
- 2. 鉄筋防錆処理**
錆び落とし(鉄筋) 防錆処理 (RIS防錆ペースト)
吹付けノズル安全

配合割合	1kg	2kg	3kg	5kg	10kg
吹付け時間	1分	2分	3分	5分	10分

吹付けペーストは7m以内の距離に塗布してください。吹付け距離が遠くなる場合は、吹付けペーストを薄く塗布してください。
- 3. プライマー処理**
プライマー塗布 (RIS211E)

吹付け時間	1分	2分	3分	5分	10分
重量比	100g	200g	300g	500g	1000g
吹付け距離	50cm	100cm	150cm	200cm	300cm

(吹付け距離)
- 4. 練混ぜ**
左官ミキサーもしくはハンドミキサーにて練混ぜる。
【練混ぜ時間目安】
左官ミキサー 5分
ハンドミキサー 10分程度
- 5. 吹付け**
スプリードエース
- 6. 表面こて仕上げ**
- 7. 養生**
モルタルが急激に乾燥しないよう、シート養生等を施す。
モルタル硬化後は養生剤 (RIS211E, RISフルコート) を塗布する。
*RISフルコート工法仕様書を参照してください。

施工システム例

④ 積算

条件により異なるためお問い合わせ下さい。

【標準使用量】

標準使用量 1,775kg/m³

荷 姿 25kg紙袋

積算価格 280円/kg

吹付け用ポリマーセメントモルタル

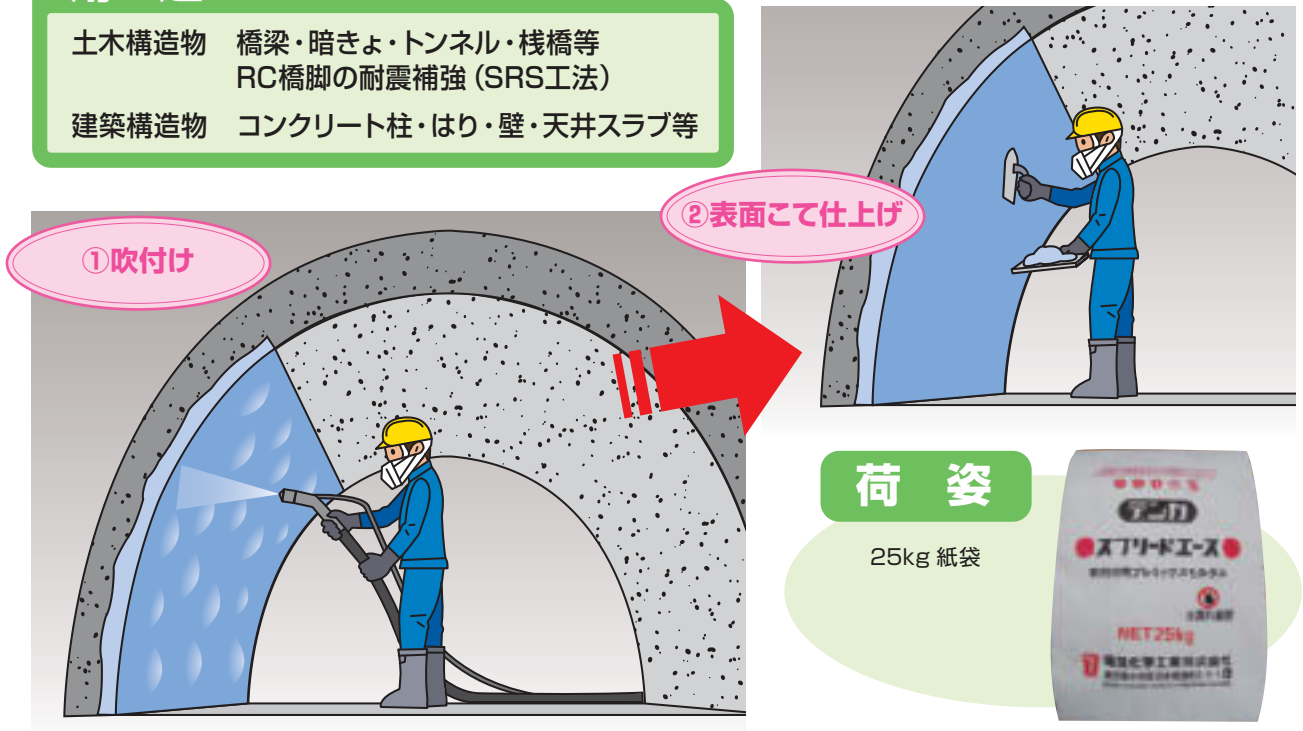
デンカスプリードエース

適合規格：NEXCO 構造物施工管理要領 表-3-5-4モルタル工の断面修復材の品質規格「試験法 432」
JR西日本「コンクリート構造物補修の手引き断面修復材の基本規格値」

高性能 大断面修復材・無機系ライニング材 一般プレミックスタイプ (1材)

用途

- 土木構造物 橋梁・暗きょ・トンネル・栈橋等
RC橋脚の耐震補強 (SRS工法)
- 建築構造物 コンクリート柱・はり・壁・天井スラブ等



①吹付け

②表面こて仕上げ

荷姿

25kg 紙袋

特徴

- ポリアクリル酸エステル (PAE) 系粉末ポリマー混入タイプ
- 樹脂ファイバー (PVA繊維) 混入タイプ
- 湿式吹付け工法で高い密着性と厚吹きを実現
- リバウンドが少なく、材料ロスも抑えられ、高い経済性
- 容易で効率的な施工が行なえる1材のプレミックスタイプ (所定量の水のみを加え練り混ぜるだけで使用可能)
- 吹付け施工時のポンプ圧送性が良好
- 収縮が少なく、優れたひび割れ抵抗性
- 耐中性化、水密性に優れ、長期耐久性に期待

配合

標準配合

	スプリードエース	水
1袋あたり	25kgの場合	3.4kg
1㎡あたり	1,775kg	238kg

※1袋の練り上がり量 25kg袋=約14ℓ

使用量
1㎡に対して塗り厚10mmで、スプリードエースを17.8kg使用します。

※別途「RIS111A」亜硝酸リチウム40%水溶液混入可能。
詳細はお問い合わせ下さい。

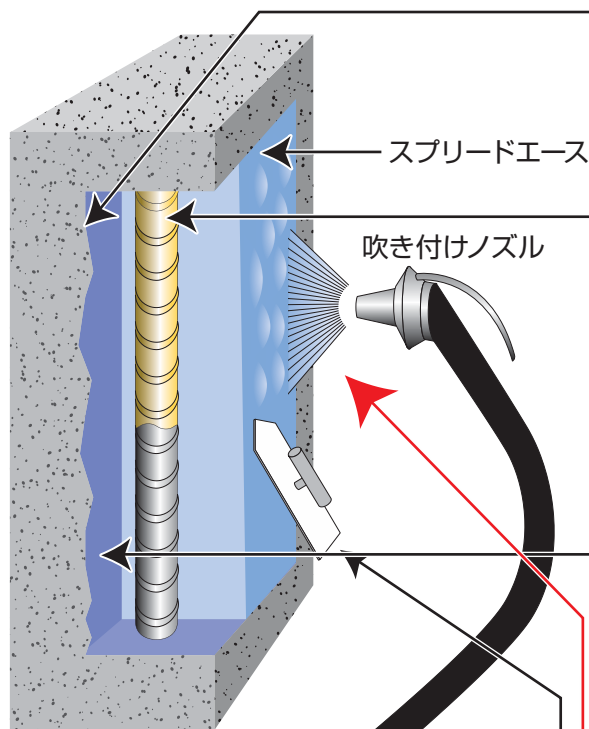
物性値 (1例) 試験方法「試験法 432」

項目	測定値
ひび割れ抵抗性	ひび割れは発生せず
コンクリートとの付着性	平均値2.3N/mm ² 最低値2.1N/mm ²
鉄筋背面への充填性	空隙の合計長0mm
寸法安定性 (長さ変化率)	0.045%
熱膨張性	0.91×10 ⁻⁵ /℃

項目	測定値
中性化抵抗性	普通コンクリートの1/5
凍結融解抵抗性	負荷後の相対動弾性係数99% 負荷後の付着強度1.8N/mm ²
遮塩性	2.33×10 ⁻⁴ cm ² /day
圧縮強度	42.9N/mm ² (材齢28日)
静弾性係数	1.98×10 ⁴ N/mm ²

※その他ラインアップ豊富：早強タイプ (ラビットエース、ライトハードエース) コテ塗りタイプ (RIS321エース、RIS322エース) グラウト注入タイプ (スプリードGV TYPE-P) など

施工手順



1 コンクリート前処理

カッター切



2 鉄筋防錆処理

錆び落とし (鉄筋)
防錆処理 (RIS防錆ペースト)
防錆ペースト配合

項目	RIS防錆パウダー	RIS111	塗布量
1袋当たり (kg)	12.5	5.0	600~900g/m ²
m ² 配合 (kg/m ²)	1350	540	(標準750g/m ²)

RIS防錆ペースト1袋で約18.7m²分の鉄筋表面に塗布できます。
※RIS111防錆ペーストも使用可能、別途RIS111カタログをご参照ください。



3 プライマー処理

プライマー塗布 (RIS211E)

プライマー配合	RIS211E	水	合計
重量比	100	200	
1m ² 当たりの配合量	50g	100g	150g (3倍希釈)



4 練混ぜ

左官ミキサーもしくは
ハンドミキサーにて練混ぜる。

【練混ぜ時間の目安】

左官ミキサー：5~6分
ハンドミキサー：2分程度



5 吹付け

スプリードエース



6 表面こて仕上げ



施工システム例



7 養生

モルタルが急激に乾燥しないよう、シート養生等を施す。
モルタル硬化後は養生剤 (RIS211E、RISフルコート) を塗布する。

※詳細は施工要領書を参考にしてください。

Denka



警告



●水や汗・涙等の水分と接触すると強いアルカリ性になり、皮膚、目、呼吸器等を刺激したり、粘膜に炎症を起こします。●目に入れないこと。入った場合は、直ちによく洗浄し、専門医の診断を受けること。●皮膚に付けないこと。●鼻や口に入れないこと。●保護メガネ、防塵マスク、ゴム手袋を着用すること。●子供に触れさせないこと。

【使用上の注意】

- スプリードエースに他のセメント、砂、混和材 (剤) 等を加えないでください。
 - ハンドミキサーで練混ぜる場合、回転翼はステンレス製や鉄製の物を使用し、アルミ製は異常膨張の原因となりますので絶対に使用しないでください。
 - 使用水量は材料温度、環境温度、ミキサーの形式、練り量などにより変化します。使用前に試し練りで適正水量を確認してください。
 - 乾燥した冷暗所で保管してください。開封後は直ちに使用してください。
- ### 【データ等記載内容についてのご注意】
- 本書記載のデータ等記載内容は、代表的な実験値や調査に基づくもので、その記載内容についていかなる保証をなすものではありません。
 - ご使用に際しては、必ず貴社にて事前にテストを行い、使用目的に適合するかどうかおよび安全性については、貴社の責任においてご確認ください。
 - 本書記載の当社製品およびこれらを使用した製品を廃棄する場合は、法令に従って廃棄してください。
 - ご使用になる前に、詳しい使用方法や注意事項等を技術資料・製品安全データシートで確認してください。これらの資料は、当社の担当部門にご用意してありますので、お申しつけください。
 - 本書の記載内容は、新しい知見により断りなく変更する場合がありますので、ご了承ください。